

# 古高松コミュニティ協議会 広報紙

創刊号



久本古墳 高松市新田町甲2009番地

古高松コミュニティ協議会

会長 竹本知孝

毎日暑い日が続きますが、皆様には元気でお過ごしのこととお喜び申し上げます。

皆様には、日ごろからご多忙のなか清掃活動や各種行事のお手伝いにご尽力を頂き、厚くお礼申し上げます。

さて、当地区の新たな組織としまして昨年9月、古高松コミュニティが発足しました。

コミュニティは、近年の社会情勢の変化で生じる、地域の抱える多種多様の問題を、行政ではなく地域自らが解決していくうえで、その基盤となる組織であります。

発足後の活動として、コミュニティセンター建設の要望を行つてまいりました。

今は建設場所も決まり、地元の要望を取り入れた設計へと進展しています。

今後の活動は、人々の生きがいとふれあいのまちづくり、福祉と安全安心のまちづくり。そして子供たちが健やかに育つまちづくりのために、各種団体との連携・連帯を図りながら努力してまいります。

住民の皆さんにも積極的な参加を頂きますよう、古高松コミュニティへのご理解とご協力をお願い申し上げ、ごあいさつとし

# ニティを発展させるために（協議会から）

## 古高松地区コミュニティが発足しました

コミュニティとは地域のみんなが自主的に参加し、総意と協力により、住みよい地域社会をつくることを目的として構成された集まりで、よりよいまちづくりを進めるために重要な基盤となります。

背景として、平成十年五月の地方分権推進計画策定、平成十二年の四月の地方分権推進一括法の施行があります。住民と行政の協働のまちづくりを推進するため、新たな自治の仕組みづくりが求められました。

今まで、地域には自治会をはじめとして各団体が地域社会を支えていました。ところが近年の都市化や核家族化の進展などにより地域内の連帯感が薄れ、自治会加入率も低下傾向で、自治会などでは全域をカバーできなくなっています。

これからは地域の各団体やボランティア等が協働し、柔軟に機能することが重要で、その機能をよ

**どんなんがでけるんな？**

「コミュニティ」とは、ラテン語の「コモ・ニテ」が語源。意味は「コモ」が『共に・一緒に』、「ニテ」は『守る事』です。

り強化していく必要があります。その活動拠点は今ある公民館をコミュニティセンターとして利用するとしています。

### 豆知識

#### 古高松コミュニティ

##### センターの施設概要（案）

敷地面積	2,000m <sup>2</sup>
駐車場（屋上）	26台
〃（一階）	11台
〃（身体障害者等）	1台
建物面積	690m <sup>2</sup>
大ホール	150m <sup>2</sup>
小会議室×2	33m <sup>2</sup> ×2
調理室	54m <sup>2</sup>
多目的プレイルーム	33m <sup>2</sup>
事務室（公民館）	40m <sup>2</sup>
事務室（出張所）	40m <sup>2</sup>
コミュニティスペース	できるだけ広く
身体障害者便所	1カ所

おおまかな平面図ではあるが、今までの概念をこえた、他の公共施設にもない地元の要望が多く取り入れられている。

まず、今の古高松公民館の利用経験から、新しい施設は平屋造り。また、土地を有効利用しようと屋根が駐車場になる。

建物が周辺に及ぼす影響として、日陰や騒音などがあるが、それらを解消できて、一石二鳥だ。細部の設計はこれからだが、公

今は、行事が二階で行われ、お年寄りや足腰の弱い方に迷惑をかけている階段も、新しい施設では無くなる。（駐車場を除く）

図面には主要な部屋の配置と広さも記され、よく見ると会議室が増えている。

共施設として、すべての利用者の安全と、使いよさを一番に考えてほしい。

# あたらしくスタートした古高松コミュニティ

古高松コミュニティ

生涯学習部会

担当 内海 重雄

古高松連合自治会・衛生組合連合会

主行事担当 加藤 直之

地域住民の生涯にわたる学習は、昨今、各種のイベントや情報通信を活用した生涯学習活動などで、ずいぶん幅広くなされています。

古高松地区においても、公民館講座や同好会活動をはじめ各種団体主催によって、老若男女にあわせた活動は多種多様で幅広い内容で実施されています。

人は、何らかの目的を持つて、自分の得意とするものに取り組むことによって優れた技が磨かれ、生きがいを感じるものです。

そして発表の機会を重ねるたびに、より高い目標が生まれ、生きがいも大きくなるのです。

コミュニティセンターは、私たちの身近な生活文化の活動拠点であります。

身近な文化の見直しや芸術活動を育むためにも、コミュニティセンターをおおいに利用したいものです。

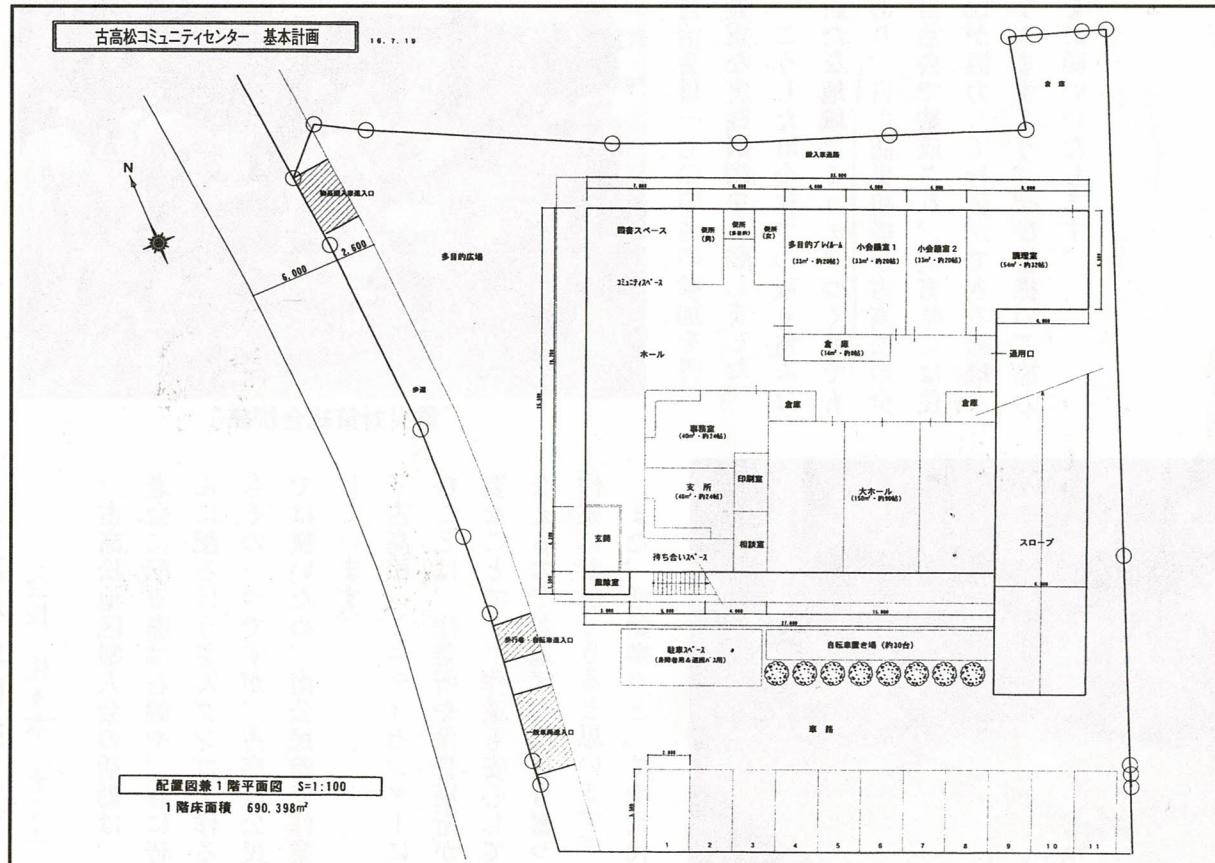
いままで連合自治会環境・衛生部によって「自らの手で住みよいまちづくり」をテーマに、毎年十二月の第一日曜日を、「古高松地区内の河川等一斉清掃日」と定め、年間のメイン事業として取り組んできました。

事業内容は、皆さんの積極的な参加のもと、各自治会の担当区域で、缶・びん類のほか投棄ゴミ等を収集しており、美しい郷土・環境づくりを図っています。

一方、婦人会の行なつているクリーン作戦への協力や、校区体育協会主催行事にも協力をし、私たちのより良い暮らしづくりを目指しています。

今後のコミュニティの組織作りには、これまでの事業の成果を基に、より一層連携・連帯を深め、「ふるさと古高松」の環境美化にみなさんと一緒に取り組んで行こ

うと思います。



# ニティに期待します（構成団体から）



町内パトロール中

成 15 年度高松市震災対策総合訓練」が古高松中学校で開催され、

そして、昨年 8 月 31 日には「平

## 古高松防犯協会

会長 多田 通夫

古高松防犯協会は、自治会のみなさんの協力で運営されています。

地区住民が安全安心な生活をおくるためには、住民全体で情報を交換し協力し合うことが大切です。

おもな活動に、地区内の児童生

徒の登下校時や行事の時に、PTA 役員と町内を巡回し、子供たち

の安全を見守っています。

最近は、青少年の非行防止を目的に、催し物会場や公園などを、また、水難事故を未然に防ぐため、ため池や河川の危険な場所も巡回しています。

自分達の生命と財産は自分達で守る。これが私達自主防災連合会のテーマです。何時起きるか判らない災害に備えての組織作りは、ややもすると消極的になりがちですが、地震災害に限らず、火災や台風災害等は、常に私達の近辺でも起こる可能性があります。

地域防災力が命を救う。古高松地区の自主防災会の結成状況は、現在三十、三千二十五世帯と年々増加し成果をあげています。

また、県（15 年 12 月県報など）や市、および報道機関を利用し、防犯の広報活動をしています。

今後、行政機関や関係団体との協力体制を強め、「安全安心なまちづくり」のために、さらに幅広く取り組もうとしています。

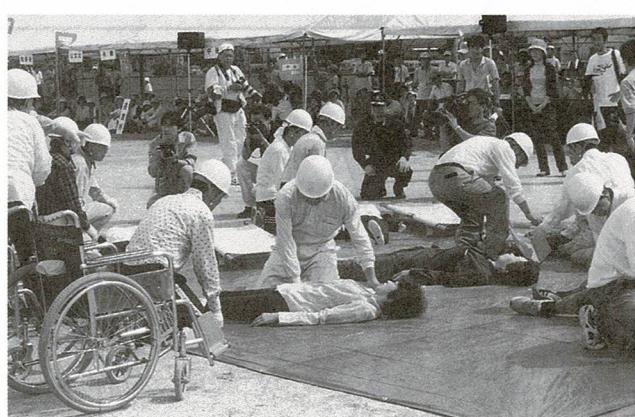
皆様の御協力をお願いします。

## 古高松地区自主防災連合会

会長 加藤 直之

自治会員一七〇〇名の参加を得、貴重な実践訓練を体験しました。

こうした町全体での取り組みは、新たな地域コミュニティづくりでもあり、自主防災組織が古高松の全自治会で結成され、災害時には住民が協力して行動ができる組織となりますよう、ぜひ皆様のご協力ををお願いいたします。



震災対策総合訓練



ほうさんダンゴ作り

## 古高松地区婦人会

会長 佐々木 ナミエ

古高松地区婦人会の活動は、敬老会に配る廃油石鹼や、春に皆さんに配るほうさんダンゴを作るのもその一つですが、古高松公民館では狭いため、南公民館で作業をしています。

古高松コミュニティセンターに望むことは、作業所や保管場所が必要なことです。作業も安心して行なえるので各地区の役員も奮つて作業に参加できると思います。

また、活動拠点として次世代へむことは、作業所や保管場所が必要なことです。作業も安心して行なえるので各地区の役員も奮つて作業に参加できると思います。

# あたらしくスタートした 古高松コミュ

引き継ぐことができます。

「もつたいない作戦」で不用品の再利用を図り、年 3 回の「クリーン作戦」を実行しながら、環境・衛生問題に取り組むことで、地区住民の皆様にお役に立てるることを誇りに思います。

新しいコミュニティセンターを『私たちのまちづくり』のために、有効に活かそうと思います。

教室を計画しています。

去年のウォーキングは 23 人の参加がありとても好評でした。今年も頑張って歩きましょう。

また、献血推進運動も重要な活動のひとつです。血液も新鮮であればあるほどいいのです。

この献血運動でどれだけの人が助かるかと思うと、たいへん意義あるものと痛感致し、声をかけるのにも力が入ります。

## 古高松地区保健委員会

会長 植村 道子

古高松地区保健委員会は、献血推進協議会と食生活改善協議会も持つた組織です。

地区住民の健康増進をはかる目的で活動しています。

私達は健康について、年齢層で違います。病気にならないよう、また、病気のかたは悪化させずに付き合おうと常に关心を持つております。

保健委員会では、今年も健康ウォーキング・虫歯予防・高脂血症予防教室等健康講座や、健康料理



健康ウォーキング

## 「献血は皆の好意で生きるもの」

日赤奉仕団古高松分団 会長 高井 喜和子

5月の社資募集や年末たすけあい募金では、地域の皆様のご協力を頂き厚く感謝します。

日赤奉仕団の活動は募金活動だけでなく、日赤病院や献血ルームの手伝い、地域の清掃奉仕、防災訓練での炊き出し、防災や人工呼吸法、「セラピューテックケア」（癒しを目的とした手先と肩まわりのマッサージ）の講習会を開いています。

これからも多くの方に参加を頂き、講習会や練習会を開きたいのですが会場の確保が大変です。

一回三十人位の方が利用できる場所。そして、備品や書類を収納できる団体独自のロッカーも必要ですね。

これから地域が抱える問題に老人看護や家庭看護がありますが、その講習も、と思っています。

教材として介護ベッドや車いすも必要と考えます。利用しやすく、設備の整ったコミュニティセンターを切望します。

他の団体活動の写真です。



交通安全推進協議会キャンペーン



社会福祉協議会の老人給食会

# 四國新聞から

(平成16年7月4日朝刊の記事の内容です)

## コミュニティセンター建設用地を決定

地域コミュニティの構築を目指す高松市で、古高松地区のコミュニティセンターが高松町の県道沿いに建設されることが三日決まった。

地域住民は今後、同センターを拠点とした地域活動のあり方について検討を進める。

同日開かれた古高松コミュニティ協議会（竹本知孝会長）の二〇〇四年度総会で建設場所の選定を盛り込んだ本年度事業計画を承認した。同センターは古高松公民館から南二百㍍の民有地。敷地面積は同公民館の二倍の二千㍍<sup>2</sup>、建物も一・五倍の七百㍍<sup>2</sup>になる計画。

同協議会は八月をめどに整備構想を市に提案。市は実施計画を進める一方土地を取得する。開館は二年後の二〇〇六年四月を予定している。この日の総会では、同協議会の組織構成も確認。地域の各種団体が「生涯学習」「福祉」「青少年育成」など六部会に別れ、地域コミュニティプランをまとめる。

高松市では、〇六年度までに市内全地域で地域コミュニティ組織を立ち上げ、全公民館をコミュニティセンターへ転用することを目指しており、現在、十八地区で組織が結成されている。

全地域で地域コミュニティ組織を立ち上げ、全公民館をコミュニティセンターへ転用することを目指しており、現在、十八地区で組織が結成されている。

### 事務局の所在と連絡先

古高松公民館	高松町 2581-2	841-6261
古高松南公民館	春日町 782-2	841-2186

### 御意見を募集

みなさんの御意見や地域の提案などを広く募集しております。

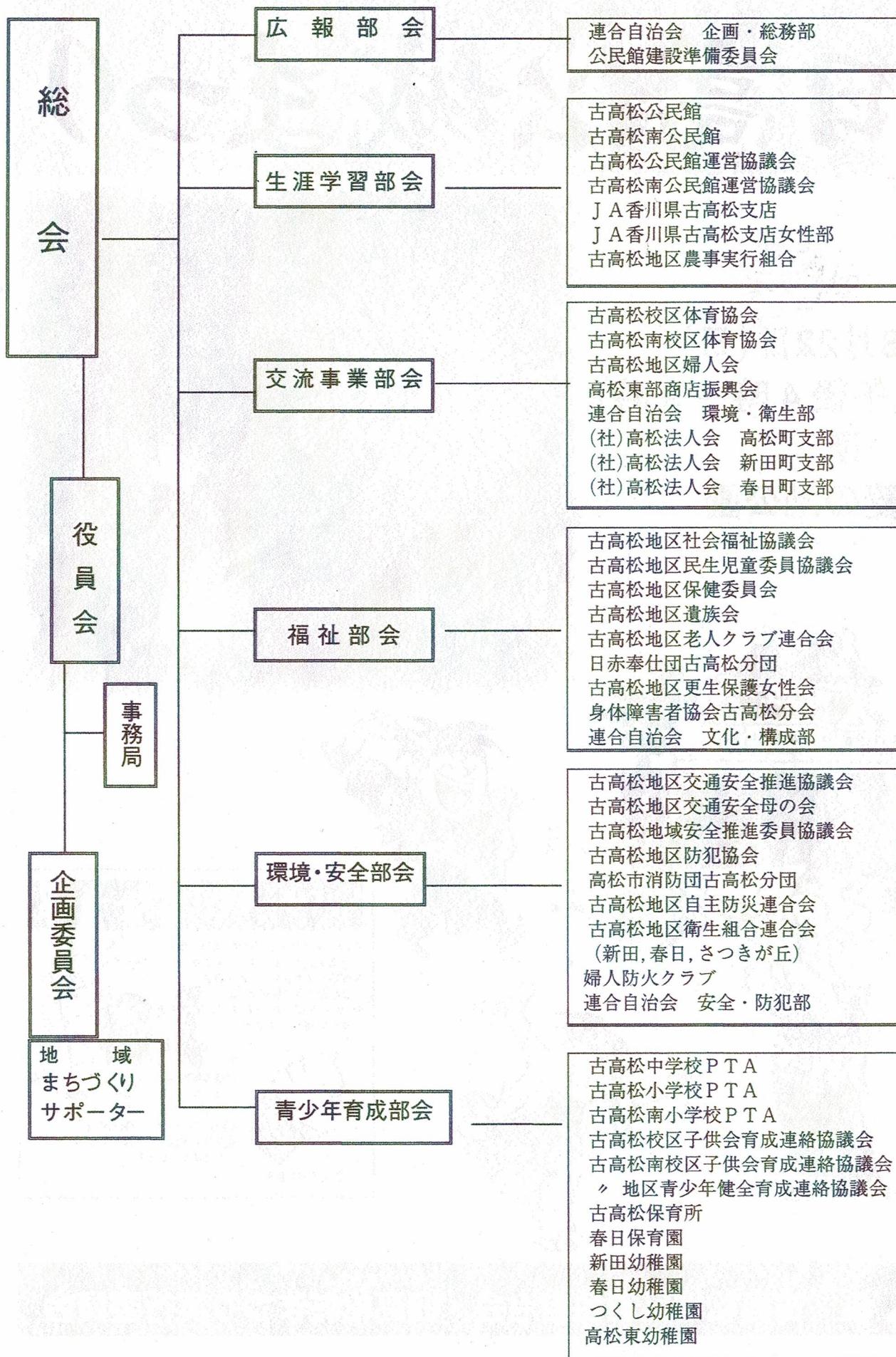
また、コミュニティ広報紙の情報についてもお寄せ下さい。

（できれば手紙かはがきで）

詳しくは上記事務局まで。

なお、広報紙は残念ながら経費等の関係もあり、当分の間、年二回の発行を目指しています。

## 古高松コミュニティ協議会組織図



**地域ふれあい交流事業 平成16年度 古高松地区**

ふる たか まつ じょう

# 旧高松城まつり

日 時

8月22日(日)

(午後4時~9時)

場 所

菱の池公園



## バザー・夜店コーナー

PTA かき氷・生ビール・ポップコーン  
フランクフルト・フライドチキン・ポテト  
少健連 ソフトクリーム・金魚  
こども育成会 各種ゲーム  
サッカー少年団 スーパーボールすくい  
ヨーヨー釣り・不用品バザー



古高松婦人部 むすび・おでん・うどん  
ビール・お茶・ジュース・焼鳥り  
フランクフルト・不用日用品販売  
JAふれあい市場 青果物直売  
高松町青年部 焼そば・生ビール  
わた菓子・かき氷

売り切れ御免!!

主 催 古高松地区連合自治会・旧高松城まつり実行委員会

ふるたかまつじょう